

実践に学ぶ

福岡県地域福祉活動職員連絡会
(研修事業2010)

コミュニティワーク研究会

サロンや見守り等の小地域福祉活動、ボランティアグループや当事者団体の組織化、福祉教育、ソーシャルアクション…。コミュニティワークには、様々な方法や切り口があり、その地域によってもその取り組みは様々です。

他市区町村のコミュニティワークの実践やコミュニティワーカーの役割を聴く機会は意外と少ないもの。今回、地職連では、コミュニティワーク実践研究会を開催し、ワーカーのスキルアップにつなげていきます。

と き 9月11日(土) 14:00~17:00

と ころ 小郡市総合保健福祉センターあすてらす

(〒838-0126 福岡県小郡市二森1167-1)

参加費 無料

対象者 社会福祉協議会の地域福祉担当職員

募集定員 30人程度

申込み〆切 9月8日(水)

その他 各社協の広報誌や講座のチラシ等、ぜひお持ちください(人数分)。

研修後の懇親会にもぜひご参加ください。

主 催 福岡県地域福祉活動職員連絡会

申込み・問合せ 筑後市社会福祉協議会(〒833-0032 福岡県筑後市野町680-1)

TEL (0942)52-3969 FAX (0942)53-6677

Mail chikugo-syakyo@athena.ocn.ne.jp

Mail f_chishokuren@yahoo.co.jp



■内容

- 14:00～開会・オリエンテーション
14:10～事例①当事者組織の育成支援について
〔keyword〕 組織化/情報収集・提供/広報/ソーシャルアクション/スーパーバイズ…
14:35～グループワーク・意見交換
15:15～小野先生のコメント
15:30～事例②困難ケースへの対応について
〔keyword〕 ニーズキャッチ/専門職の連携/マイノリティの問題/本人との関係づくり…
15:55～グループワーク・意見交換
16:35～小野先生のコメント
16:50～まとめ・終了

※事例については、県内の市町村社協ワーカーが提起します。

■コメンテーター／小野 達也 先生（大阪府立大学社会福祉学科准教授）



大学卒業後、ボランティア活動を始め、西日本最大の日雇い労働者の街、釜ヶ崎で、アルコール依存症の人たちや路上生活者の人たちへの支援活動や、学童保育や子ども会の手伝いに携わる。特に路上生活者との関わりの中で「世界で一番栄えた日本の裏側」を感じたという。

その後、静岡県ボランティア協会のスタッフ、熊本学園大学の教員などを経て、現職にいたっている。地域福祉のあり方、社会を変える技術としてのコミュニティワークなどを主に研究している。

「実践に学ぶコミュニティワーク研究会」参加申込み書

社協名			
住所			
電話番号		FAX 番号	

	氏名	性別	経験年数	担当役職	懇親会
例	地職 連子	女	1年	地域福祉	○
1					
2					
3					

0942(53)6677(筑後市社協) に FAXでお申し込み下さい。
※送付文書は必要ありません。